

総合的な学習の時間 「手話体験教室」

寒川町立一之宮小学校



単元（題材）目標

○聴覚障がいについて話を聞いたり交流したりすることを通して理解を深め、お互いに思いやり尊重しあう心を育てる。

（1）実施時期

11月中旬

（2）対象（学年等・人数）

第4学年 72名

小学校教員 3名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

外部講師：寒川町社会福祉協議会 職員2名

聴覚障がい者協会 3名 菊和会 6名



（4）実施内容

①講演会：「聴覚障がいについて」（学年全体）

・聴覚障がいの方が困る場面について、児童にわかりやすいように寸劇を交えて話をいただいた。病院、避難所、宅配便の受取等具体的な生活場面で困ることについて、手話の他にどんな工夫をして生活しているかを理解した。（手話通訳あり）

②手話体験：グループに分かれての手話の実践

・自分の名前、挨拶、喜怒哀楽、教科、食べ物など身近な物や事柄についての手話を教わった。

③児童からのお礼

・地区音楽会に向けて練習していた合唱曲に手話を取り入れていたので、お礼に披露した。歌詞が伝わったことや喜んでいただいたことに、児童も自信がつき、音楽会でも力を発揮することができた。

（5）成果

○劇を見たり話を聞いたりする中で聴覚障がいのある方々の困難さを知り、理解を深めることができた。

○手話に興味を持ち、手話で簡単な挨拶や自分の名前を伝えられるようになった。

〈子どもたちの振り返りから〉

○ジェスチャーでも伝えられそうな手話もあったけど、難しい手話もあって、もっとたくさんの手話を知りたくなった。

○病院などで耳が不自由な人を見つけたら、肩をたたいてあげて教えてあげようと思った。

（6）その他

○社会福祉協議会のご協力をいただき、点字体験、車いす体験も実施した。